



気分はお店屋さん

毎日朝ごはんが終わったと思ったらすぐにお昼ご飯の時間が来て、またあっという間に夜ごはんの時間がやってきます。食事を摂っているそばから「今日の昼食（夕食）何にしようかな〜？」とつぶやいていると「ママってほんとうににくいしんぼうだね！」と言われる毎日。

そんな食いしん坊で評判の!?母ですが、実際はこの自粛期間中、「何も考えられな〜い」とごはんお手上げ状態になったこともしばしば。

ある時、粘土でごはん屋さんごっこをしていた子どもたちから「ほんとうのおみせ屋さんみたいになりたい」と要望がありました。ちょうどその時まさに昼食に行き詰っていた最中だったので、「じゃあ、今日は2人がお店屋さんしてくれる？」という事になり、相談の結果、おにぎり屋さんをすることになりました。家にある食材で具材やメニューを決め、母は汁物や具材の準備、子どもたちはメニューや看板の準備を担当することにして準備開始。



← 看板

三角巾を頭につけ、お客さんの呼び込みをし、お店屋さんになりきる子どもたち。お客さんが注文したものを作るよりも自分で作って食べる事に夢中になっていましたが、とても楽しかったようで、その後も昼食の定番はお店屋さんごっこになりました。

スーパーなどで売っているピザの生地だけを買っておいて、子どもたちにトッピングしてもらってピザ屋さん。ロールパンにハムやレタス、卵やトマトなどを挟んでもらって作るサンドイッチ屋さん。チャーハンをお椀に入れてひっくり返し、見た目だけお店屋さんに見える中華食堂。お鍋に乾麺を投入し、好きな薬味をかけるうどん屋さん。キャラクターのレトルトカレーをナンにつけて食べるインドカレー屋さん。時には三角巾とエプロンをつけて食事を運ぶだけのお手伝いですが、“お店屋さん”と言う響きを聞いただけで楽しいようです。「きょうはおんがくをかけたいな」「テイクアウトにしておそとでたべるのはどう？」「おかねつくったよ」とアイデアが次々わいてくるのが子どもたち。時にはベランダや家の外にレジャーシートを敷いておそとご飯を楽しむのもいいですね！

毎日、お疲れ様です！

子育て支援担当

